

住宅における出火防止、火災の早期発見、初期消火、延焼防止、通報、避難等に資する機器等又はこれらを組み合わせたもの（住宅用防災機器等という。）のうち、構造、性能等に係るガイドライン等の推奨基準に適合するものに、統一の推奨マーク（住宅防火安心マーク）を付して、購入の目安としております。



住宅防火安心マークの対象品目は、次のとおりです。

- 防炎寝具類 ●防炎衣服類 ●防炎カーテン・布製ブラインド
- 防炎じゅうたん等 ●住宅用火災警報器 ●住宅用自動火災報知設備
- 住宅用消火器 ●エアゾール式簡易消火具（ハロンを使用するものを除く。）
- 住宅用自動消火装置 ●住宅用スプリンクラー設備
- 固定型消火機器 ●天ぷら油消火用簡易装置

住宅防火安心マークは、推奨を受けた住宅用防災機器等に表示することができます。

- ・色及び大きさは、特に定めはありません。
- ・「安心マーク」、「住宅防火安心マーク」という文字を付けられます。
- ・表示場所は、購入者の目に付きやすい場所、設置工事を伴う場合は、設置後に使用者の目に触れる場所です。
- ・推奨を受けた住宅用防災機器等以外には表示できません。

# わが家の 防火ハンドブック

保存版！



# 年間、約3万6千件以上の火災が発生!

その半数以上を建物火災が占めています。

さらに住宅火災による死者数は、

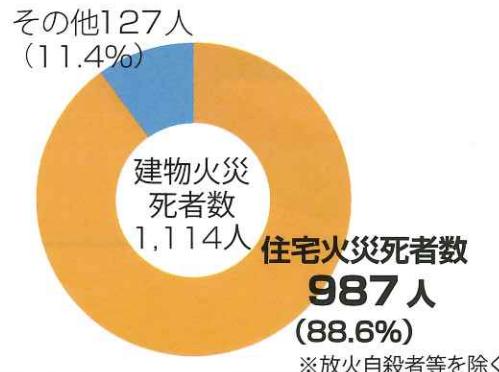
建物火災による死者数の**8割**以上で、

うち**6割以上**が高齢者です。

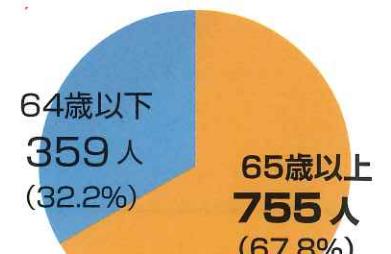
# 家族で見直そう わが家の防火対策

住宅防火は、家族のみんなの心がけと日々の実践

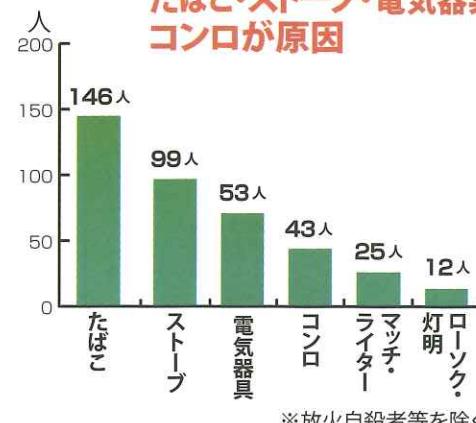
建物火災死者数の8割以上が  
住宅火災で発生



住宅火災における  
死者の6割以上が  
高齢者



住宅火災死者の多くは  
たばこ・ストーブ・電気器具  
コンロが原因



## 目 次

わが家の防火対策

1 たばこ 3

2 ストーブ 5

3 コンロ 7

4 電気器具 9

住宅用火災警報器  
を設置 11

火災発見!  
3つのステップ 13

119番に  
通報する! 14

# たばこ

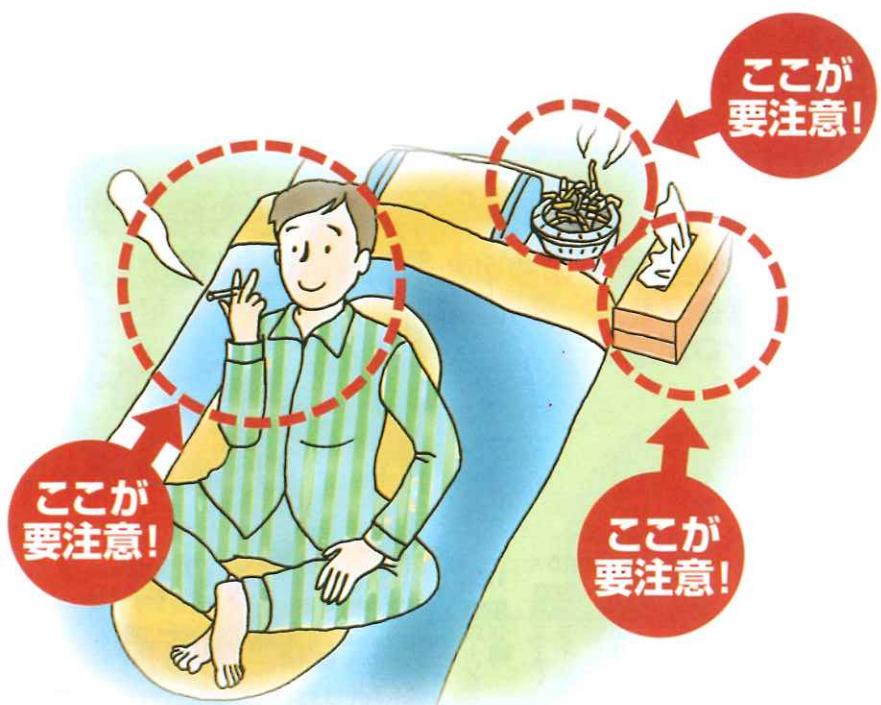
たばこの火は **700~800℃** の高温です。

たばこの火は消したつもりでも

**完全に消えない**ことがあります。

水をかけるなどして、

**確実に消えたことを確認**しましょう。

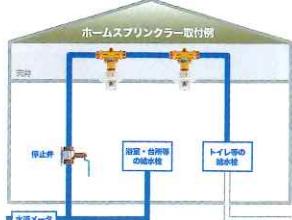


## 家族を守る 防火のルール

チェック

- たばこは布団やベッドでは絶対吸わない。
- 灰皿に吸いがらは溜めずこまめに捨てる。
- 燃えやすい物のそばではたばこを吸わない。
- 灰皿に火のついたたばこを放置しない。
- たばこはいつも決まった場所で吸う。
- 吸い終わったらキッチンと火が消えているか確認する。
- 灰皿にはいつも水をいれておく。

## 家族を守る 住宅用防災機器等



### 住宅用スプリンクラー設備

水道管に直結し、高感度スプリンクラー ヘッドが「火災時の熱により開栓→自動的に広く散水」することにより「火災を抑制→居住者の避難時間等を確保」し、住宅火災の被害を軽減するために有効な機器です。

お問い合わせ

(一社) 日本消火装置工業会  
Tel.03(5404)2181

# 02 ストーブ

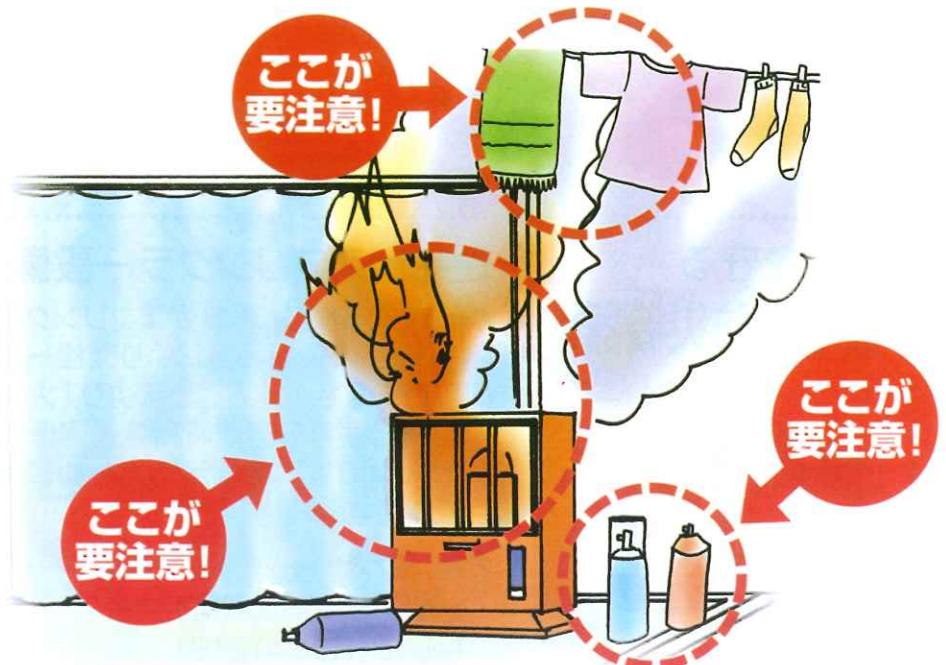
カーテンや洗濯物がストーブに触れて

火災になることがあります。

カーテンや家具など

燃えやすい物の近くでは、

絶対に使用しないようにしましょう。



## 家族を守る 防火のルール



チェック

- カーテンや家具など、燃えやすい物の近くにストーブを置かない。
- 洗濯物はストーブの上に干したり、近くで乾かしたりしない。
- ストーブの近くにスプレー缶は絶対置かない。
- 部屋に誰もいないときは、ストーブを必ず消す。
- 石油ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行う。
- ストーブをつけたまま寝ない。
- 暖房シーズンの前には、点検整備を行う。

## 家族を守る 住宅用防災機器等



### 安全暖房器具

「対震自動消火装置」(地震や誤って倒したときに作動)や「過熱防止装置」など火災を未然に防ぐ安全装置がついています。

お問い合わせ

(一社) 日本ガス石油機器工業会  
Tel.03(3252)6101

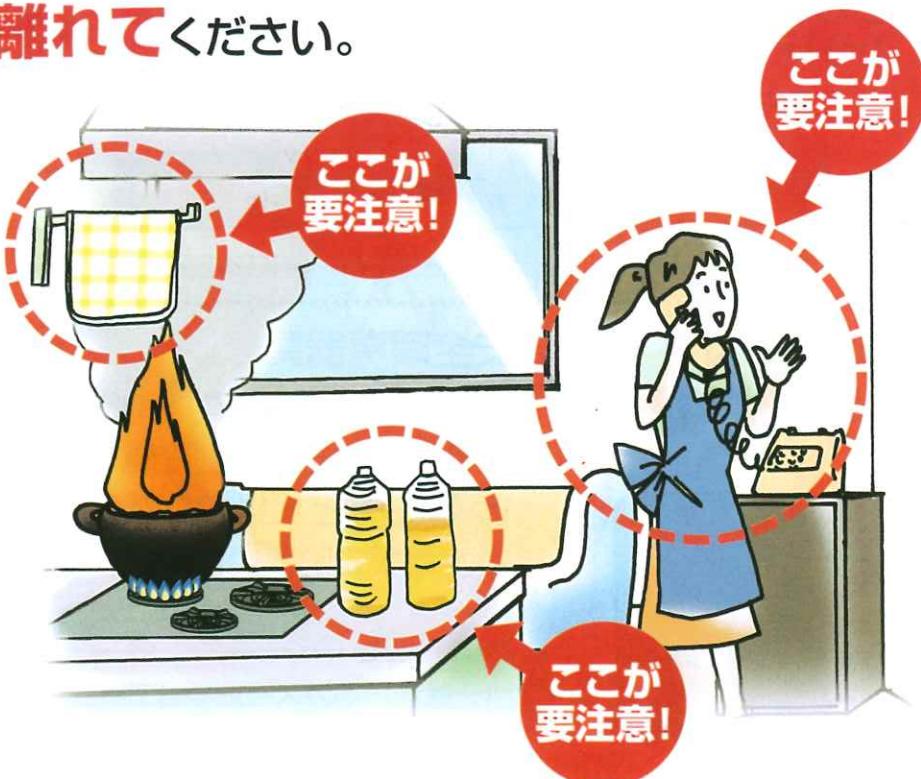
# 3 コンロ

台所での火災原因で最多多いのがコンロです。

電話や来客、掃除洗濯、テレビや買い物など、

調理中に台所を離れる時には、

必ずコンロの火を消してから  
離れてください。



## 家族を守る 防火のルール

チェック

- コンロの上にふきんなどを干さない。
- コンロのまわりに燃えやすい物は置かない。
- コンロの使用中は絶対にそばを離れない。
- 古くなったガスホースは使わない。
- コンロは壁から離して置く。
- 天ぷら油の凝固剤を使うときはそばを離れない。
- 換気扇や壁などは、こまめに掃除する。

## 家族を守る 住宅用防災機器等



### 住宅用消火器

操作が簡単です。「天ぷら油火災適応」・「ストーブ火災適応」などの表示をみて、火災の種類に適応するものを選びましょう。また表示されている有効期限が過ぎたら新しいものに交換しましょう。

お問い合わせ  
(一社) 日本消火器工業会  
Tel.03(3866)6258

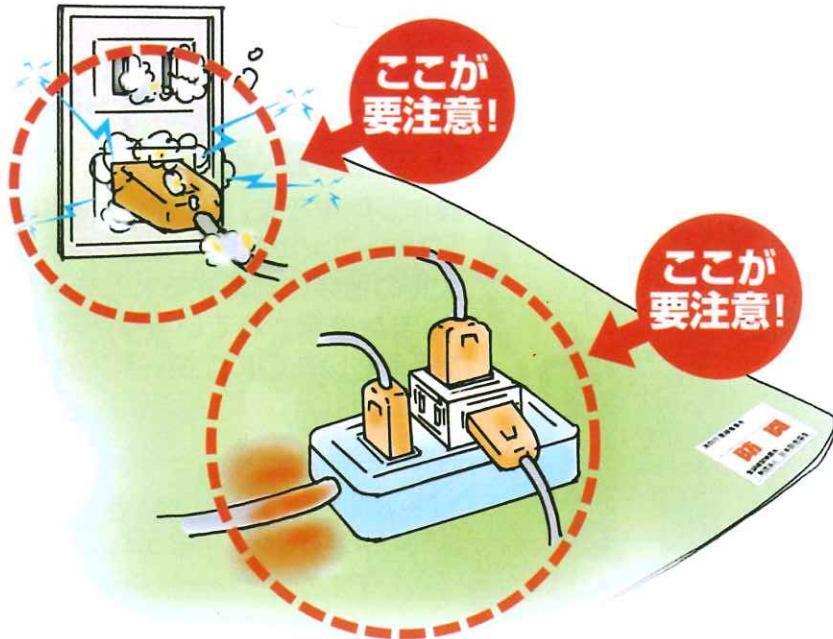


# 4 電気器具

電気器具のコンセントは、**ホコリが溜まり**

**発熱して火災の原因**となることがあります。  
見えない場所も**定期的に掃除**をしましょう。

コンセントの**タコ足配線**も**発熱の原因**  
となるのでやめましょう。



## 家族を守る 防火のルール



チェック

- 冷蔵庫の後ろなど、普段隠れているところも掃除する。
- タコ足配線は絶対にしない。
- 普段使用しない電気製品のコンセントは抜いておく。
- 電気製品のコードを束ねたまま使用しない。
- 古くなった電気コードは新しいものに取り替える。
- コード部分を引っ張らずにプラグ部分を持って抜く。
- 電気コードが家具やじゅうたんの下敷きにならないようにする。

## 家族を守る 住宅用防災機器等



### 防炎品

火がふれても燃えにくい特長を持っています。  
布団、シーツ、カーテン、じゅうたんなどがあります。

お問い合わせ —————

(公財) 日本防炎協会  
Tel.03(3246) 1661

# 住宅用火災警報器を設置して大切な家族を火災から守りましょう!

住宅用火災警報器の種類(煙式)



壁面用



壁面・天井用



天井用

リビング



家族の使用頻度の高いリビング  
できるだけ設置しましょう。

子ども部屋  
(寝室)  
設置義務



寝室にあたる場合には設置が  
必要です。

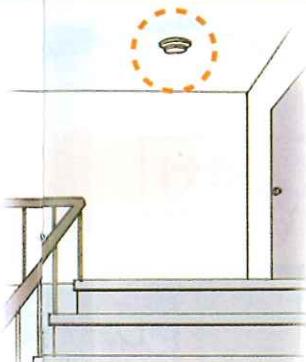
キッチン



火気を多く使う台所  
できるだけ設置しましょう。

階段  
設置義務

2階以上に  
寝室がある  
場合には設  
置が必要で  
す。



寝室  
設置義務



すべての寝室に設置が  
必要です。

住宅用火災警報器に関する質問は下記まで

住宅用火災警報器相談室 ☎ 0120(565)911

受付時間：月曜から金曜までの午前9時から午後5時(午後0時から午後1時を除く。土日祝は休み)

住宅防火対策については下記サイトをご覧ください

住宅防火対策推進室議会

<http://www.jubo.jp/>

設置場所等の詳細は下記サイトをご覧ください

(一社) 日本火災報知機工業会

<http://www.kaho.or.jp/>